

2. 研修概要

田中 博

(1) 趣旨

NGO-JICA 相互研修も 6 年目を迎え、今年から国内研修で議論したテーマを、現場で更に深めるべく、海外研修も実施されることになった。今回はテーマである「プロジェクトに終わりはあるのか？～自立発展性を考える～」について、プロジェクトを終結するにあたって、どんな形で終わるのか、それに至るプロセス、条件や障害に関して現実の事例をもとに具体的に分析することが目的である。参加したのは、国内研修参加者のうち、約半数にあたる 12 名（NGO 側 7 名、JICA 側 5 名）。コースリーダーとして磯田厚子氏（日本国際ボランティアセンター副代表）、検討委員から田中博（ヒマラヤ保全協会事務局長）、事務局として佐久田朝親氏（JICA 国際協力総合研修所）が同行した（参加者名簿参照）。また NGO 事業訪問では、CCWA フィリピン事務所の松浦宏二氏がパナイ島まで同行して、詳しい説明をしていただいた。

(2) 事前研修内容

国内研修の成果を確認し、海外研修の課題を明らかにするために参加者に宿題が出され、その結果を持って全員が 11 月 6 日に市ヶ谷の JICA 国際協力総合研修所に集合。フィリピンで行う調査の内容、質問項目などが絞り込まれ、また調査中のグループ分け、役割分担も決定した。

(3) 現地研修の方法・流れ

11 月 7 日から 13 日までフィリピンを訪問し、NGO 側プロジェクトとしてパナイ島イロイロ州での、CCWA 基督教児童福祉会国際精神里親運動部の事例を、JICA 側としてターラック州での家族計画・母子保健プロジェクトを視察した。どちらも終了したプロジェクトで、その後どのように効果が持続し、活動が住民に引き継がれているかを、直接現場で調査することによって、「自立発展性のあるプロジェクトの終了」のためには何が必要なのかを考察した。詳しくは研修日程を参照されたい。

それぞれの事例では成功例のみではなく、不十分だった点についても率直に話してもらえるように、また責任者や中心メンバーだけでなく、末端のボランティアや住民レベルの人々ともインタビューや意見交換ができるように依頼をした。結果として実感を伴った研修・考察ができたことを関係諸氏に感謝したい。

また CCWA が支援する村でのホームステイなども、住民と顔の見える交流が実

現し、貴重な経験となった。日中のヒヤリングや訪問を終えたあと、連日深夜まで参加者同士の議論が続き、体力的には厳しかったが、NGO と JICA のスタッフが学び・刺激しあう良い機会になったと思う。

最終日 13 日は、JICA フィリピン事務所を訪問し、NGO-JICA ジャパンデスクの説明を受けると共に、所員や在フィリピン NGO スタッフなどの参加のもと、本研修の報告会を開催した。また、帰国後の 14 日には国際協力総合研修所で帰国報告会を行った。こちらには、国内研修参加者が中心に集まり、海外研修の成果について発表・意見交換が行われた。

以上



村落共同運営の薬局にて（元 JICA プロジェクト、後列左から 3 番目が田中委員）

海外研修日程

日	曜日	時間	行程
11月6日	木	9:20-10:20 10:30-11:30 11:35-12:35 12:30-13:30 13:30-17:00 17:00-	オリエンテーション・渡航手続 NGO 案件訪問先概要説明 JICA 案件訪問先概要説明 昼食 調査準備 夕食、ホテル移動（成田へ）
11月7日	金	8:00 9:30 13:45 15:15 16:20	成田空港第2ビル集合 成田発 マニラ着（トランジット） マニラ発 イロイロ空港着（CCWA 駐在職員合流） ホテル着 オリエンテーション
11月8日	土	9:00 10:30	ホテル発 ハニワイ町着 昼食 Janiuay Calvario Community Center 訪問 スタッフにヒアリング 活動現場訪問（小規模融資の顧客等） ホームステイ先到着 夕食
11月9日	日	11:00- 14:00 15:30 17:00 18:00	ヒアリング、各グループで地域活動現場訪問 総括ミーティング 昼食 Janiuay Calvario Community Center 発 イロイロ空港着 イロイロ空港発 マニラ空港着 ホテル着
11月10日	月	7:30 8:00-9:30 9:40- 13:30	ホテル発 CCWA フィリピン事務所訪問 ターラックへ移動 ヌエバエシハ州保健局表敬訪問 ホテル着 インタビュー準備
11月11日	火	8:30- 12:30- 15:00-16:00 16:30 18:30-	ホテル発/3グループで地域保健局(RHU)訪問 A : Talugtug B : Guimba 1 C : San Isidro RHU スタッフ等と昼食 RHU/BHS/BHW 訪問 ホテル着 グループ報告、ディスカッション、発表準備 夕食

11月12日	水	8:30-	ホテル発 ターラック州保健局表敬訪問
		9:00-11:00	2グループに分かれて移動 A: Botika Binhi, Balibago 1 st (村落共同薬局) B: TV99 Activities (保健衛生啓発活動)
		12:00-	州保健局長、スタッフ等と昼食 ターラック発、マニラへ移動 ホテル着 グループ報告会、ディスカッション、研修報告準備
11月13日	木	9:00-	ホテル発 JICA フィリピン事務所着、 NGO-JICA ジャパンデスク訪問 研修報告会
		10:00-	
		11:30-	空港へ 昼食
		14:20	マニラ空港発
		19:35	成田着
		20:47	空港第2ビル駅発
		21:46	京成上野駅着
		22:30	国総研着
11月14日	金	9:30-12:00	帰国報告会準備 昼食
		13:00-16:00	帰国報告会

海外研修参加者

■研修参加者

No.	氏名	フリガナ	所属先
1	伊吾田 善行	イゴタ ヨシユキ	地球市民の会かながわ
2	伊藤 解子	イトウ トキコ	社団法人 シャンティ国際ボランティア会 (SVA)
3	奥村 真紀子	オクムラ マキコ	JICA国内事業部
4	尾上 公一	オノウエ キミカズ	JICA国内事業部
5	腰原 亮子	コシハラ リョウコ	財団法人ジョイセフ (家族計画国際協力財団)
6	杉田 優子	スギタ ユウコ	エクアドルの子どものための友人の会 (サネ)
7	中嶋 秀昭	ナカジマ ヒデアキ	特定非営利活動法人 アムダ
8	原田 恭子	ハラダ キョウコ	日本国際ボランティアセンター
9	藤田 暁子	フジタ アキコ	JICA国内事業部
10	古澤 めい	フルサワ メイ	特定非営利活動法人 草の根援助運動
11	松久 逸平	マツヒサ イッペイ	JICA国際協力総合研修所
12	山田 智之	ヤマダ トモユキ	JICA青年海外協力隊事務局

■研修関係者 (コースリーダー、検討委員、事務局)

No.	氏名	フリガナ	所属先	担当
13	磯田 厚子	イソダ アツコ	女子栄養大学/特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター	コースリーダー
14	田中 博	タナカ ヒロシ	特定非営利活動法人ヒマラヤ保全協会	サブリーダー 検討委員
15	佐久田 朝親	サクダ トモチカ	JICA国際協力総合研修所	事務局スタッフ